



# 学校だより 青い鳥

平成28年度1月号  
さいたま市立上落合小学校  
平成29年1月6日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381  
<http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/> E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



## 生命力

校長 藤澤 太郎

新年あけましておめでとうございます。お正月はご家族で楽しい時間を過ごされたことと拝察いたします。本日から3学期がスタートいたします。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

3学期はまとめの学期と言われます。多くの子どもが、昨年の1学期に立てた目標が、今はハッキリと見えていると思います。その目標を是非実現させて欲しいと思います。

さて、動植物の世界には、まだまだ分からないことがたくさんあるようです。暮れに、茶わん蒸しを作ろうとして、平成28年に実ったであろう銀杏の実をパチパチ割っていた時にふと思いました。そう言えば、学校には何本かの銀杏がありますが、何れも結実していないのではないかと。私に小学生の頃、裏庭（裏庭が南向きでした）に父が「さくらんぼ」の苗を植えました。その時父が、「おす木とめす木を植えないと実がならない。」と言っていたのを思い出しました。そして、少なくともこれら学校の銀杏は昭和45年までには、普通の苗よりも大きなもので植えられたと推測されます。つまり、学校の銀杏は植えられてから少なくとも46年以上経過しており、結実していない上に、黄葉への斑様変色過程が長期である。という特徴があるということです。早速調べてみると、銀杏にはやはり雌雄の木があり、雌木が苗から実をつけるまで最低十数年かかること（自然実生は25年以上かかること）。自然交配（風で花粉が何キロも飛ぶこと）であることが分かりました。つまり、学校の銀杏は立派な雄木であり、どこぞの雌木にせっせと花粉を供給しているということが分かりました。風向きにもよりますが、きっと北浦和あたりから氷川神社まで網羅していると考えました。（ご苦労様！）

次に、動物の世界はどうでしょうか？例えば海水魚のマダイは、生まれた時は全部雌。成長過程で雄と雌に分かれ、そして子孫を残すというわけです。海水魚ではこうした者が300種以上いるそうです。また、両生類や爬虫類などの中で、ミシシッピーワニは、卵の段階の環境（32℃以上か以下か）で雌雄どちらかが決定されるようです。とすると、生まれたてのワニは、そのごく狭い地域では皆同性ということになり、兄弟なのは良いけれど、「強いのは俺だから！」みたいになって、もめ事が絶えないという状態になるのでは？とちょっと心配になります。※ご心配なく！脊椎動物（我々、哺乳類を含む）は遺伝子レベルで性が決定されているということです。

そんなことで、動物も植物も何億年前からこの繰り返しをしてきたところ、「生命力」のある種が繁栄をしてきたのだと考えることができます。つまり、環境に合わせ、敵を威嚇したりしながら種の繁栄を願って、それぞれの種が命を繋いできたのだと思います。私たち人類がこの先どうなるのか？実に気になることです。地球上で最強なはずの人類の生命力は最近どうなのでしょう？このことについては、人と関わる力が一番の「生命力」と考えます。地球上では人間は高度な社会生活を行うことができる唯一の生き物ですから、人間にとっての生命力は、「人と繋がることのできる力」ということになります。

まだまだ寒い日が相当期間続きそうです。寒さに負けず、毎日元気に登校して欲しいと願っています。各々の目標はハッキリしているようですので、邁進あるのみということです。

## 学校教育目標

あかるく

なかよく

たくましく